

水と油と高分子のスペシャリストとして社会の発展に貢献する

# 第2四半期業績の概要

(平成28年3月1日～平成28年8月31日)

株式会社 **MORESCO**

**MORESCO Corporation**

<http://www.moresco.co.jp/>

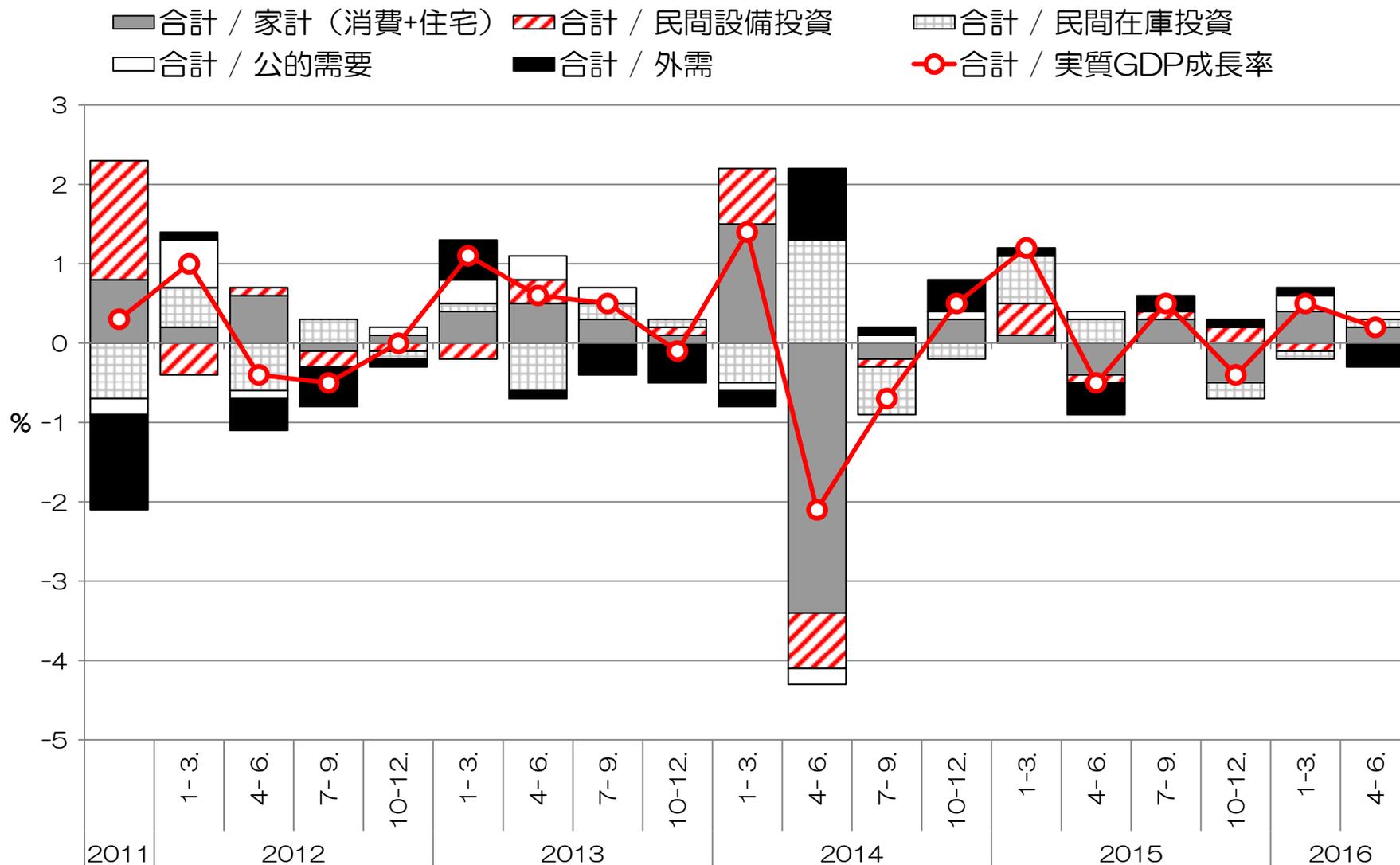
**東証一部 5018** (石油・石炭製品)

2016年10月

# 当期の経営環境(1)

## 四半期別 実質GDP寄与度 推移

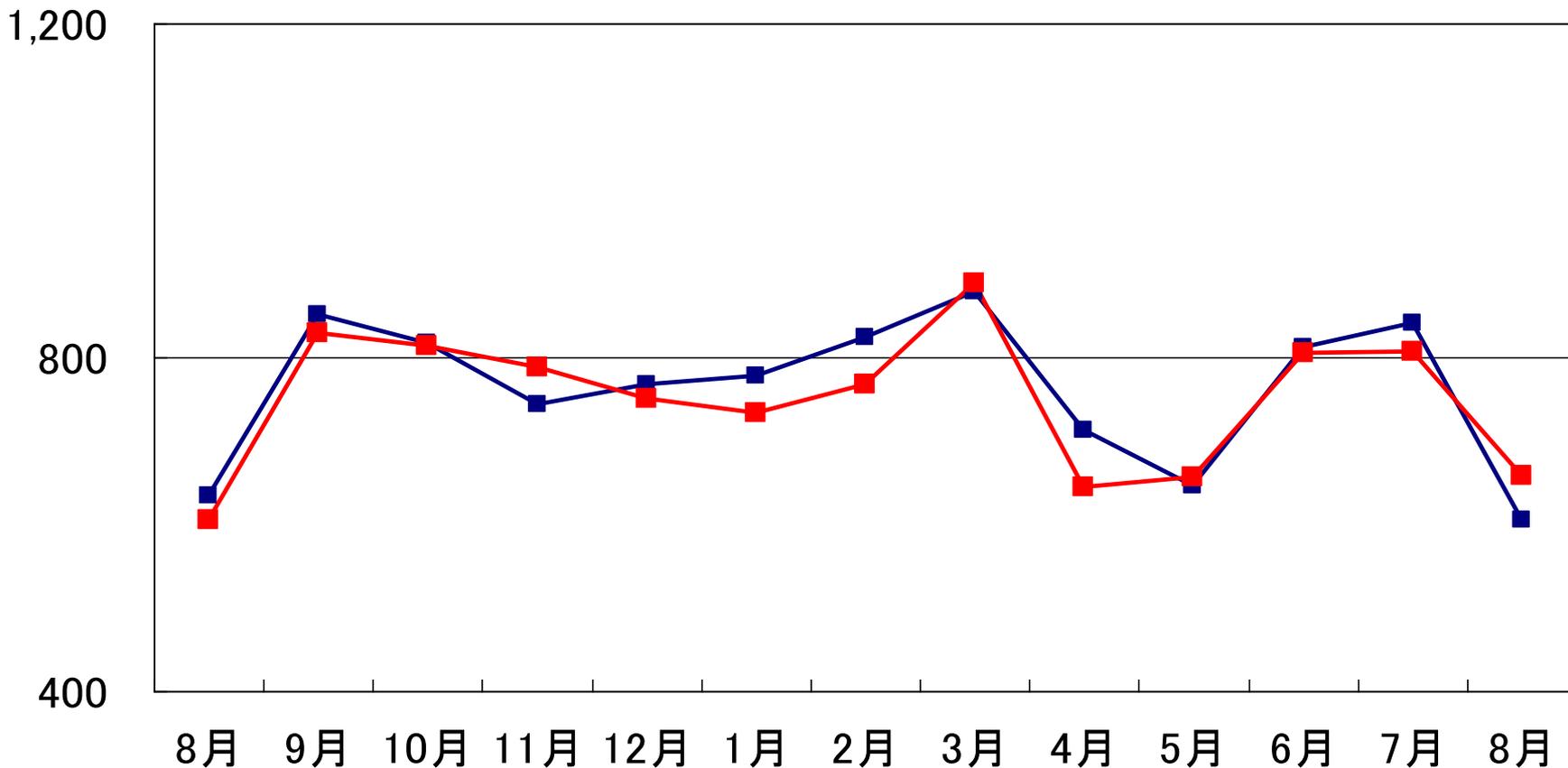
出展: 内閣府



# 当期の経営環境(2)

千台  
国内 月別 自動車生産台数

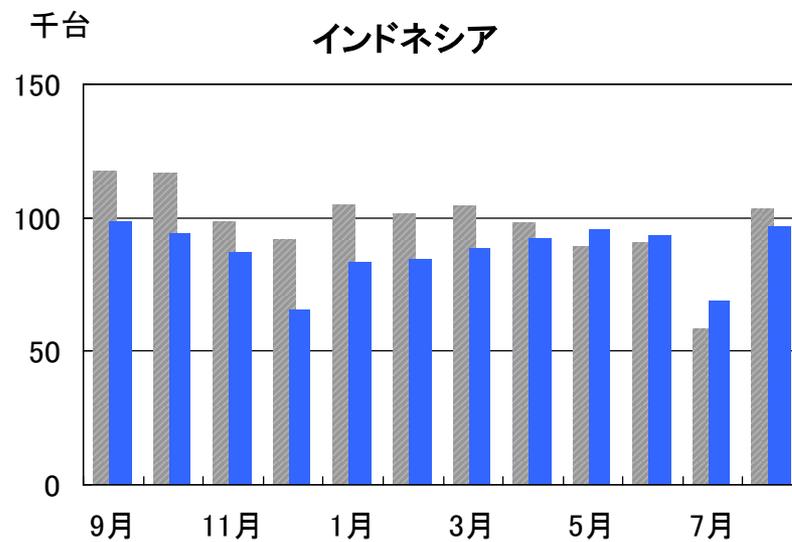
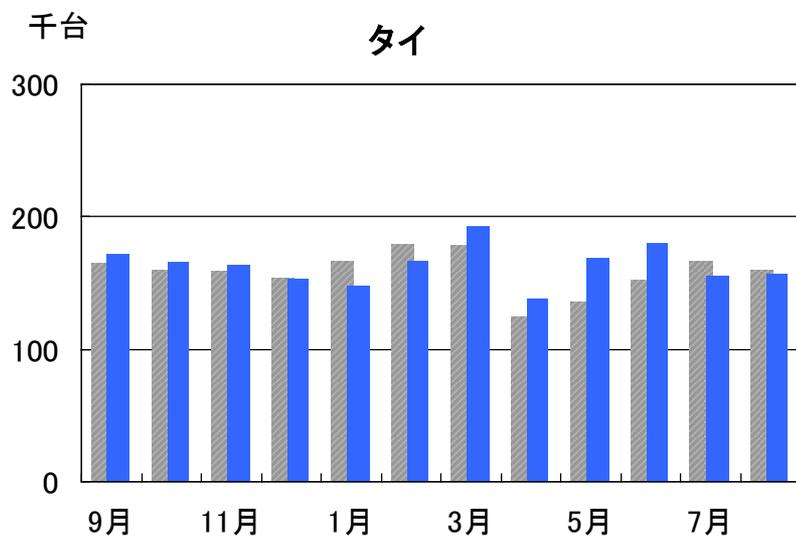
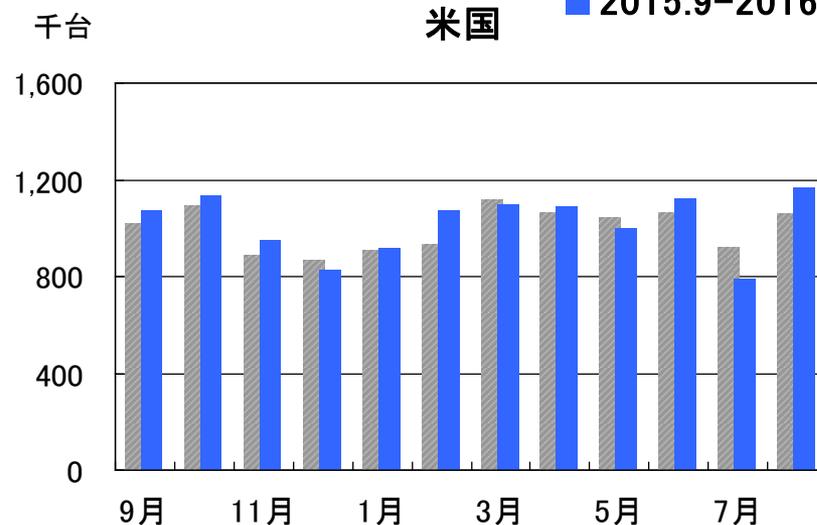
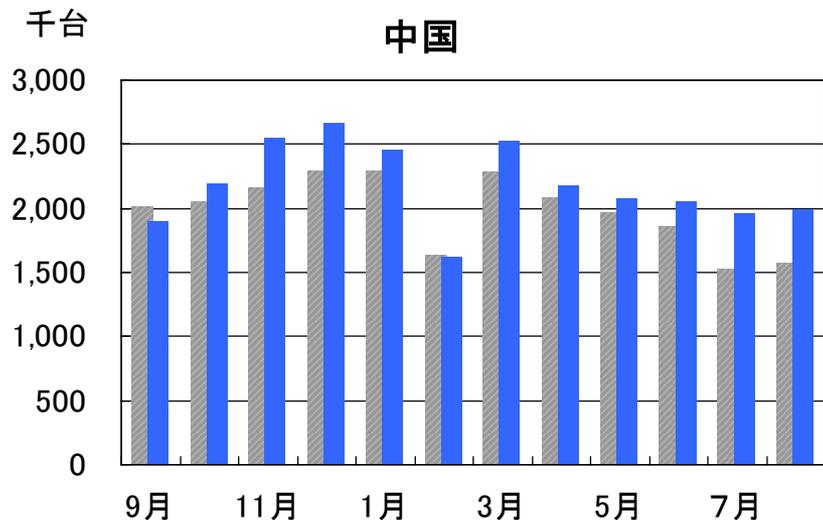
■ 2014.8-2015.8  
■ 2015.8-2016.8



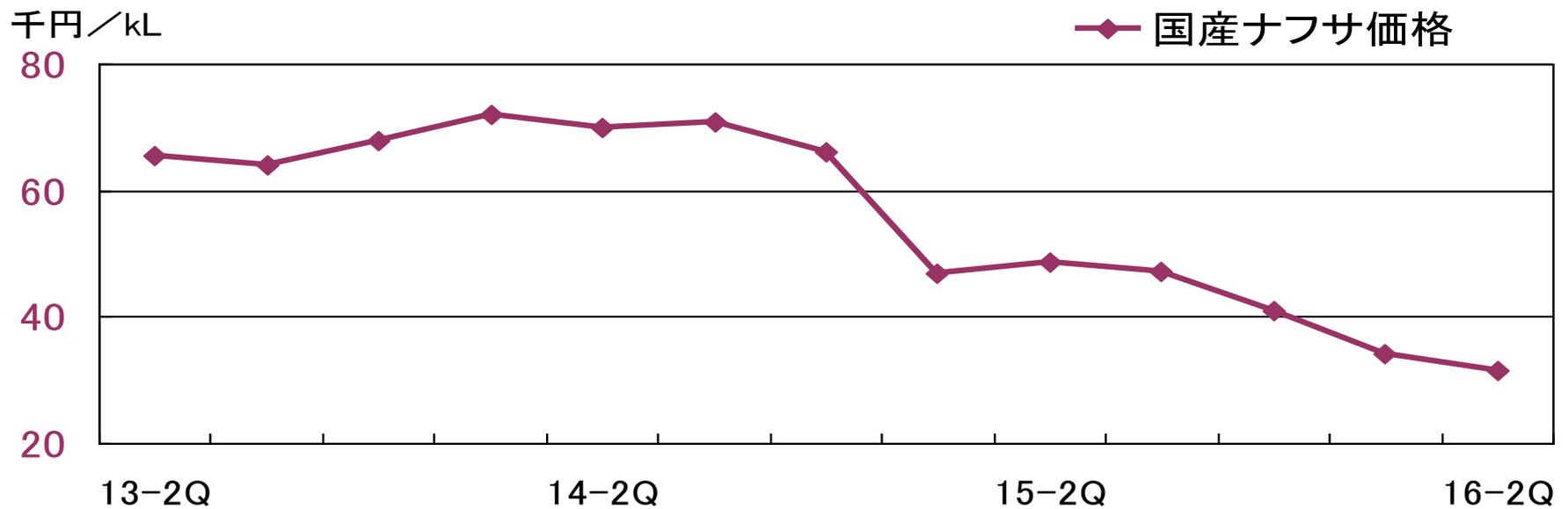
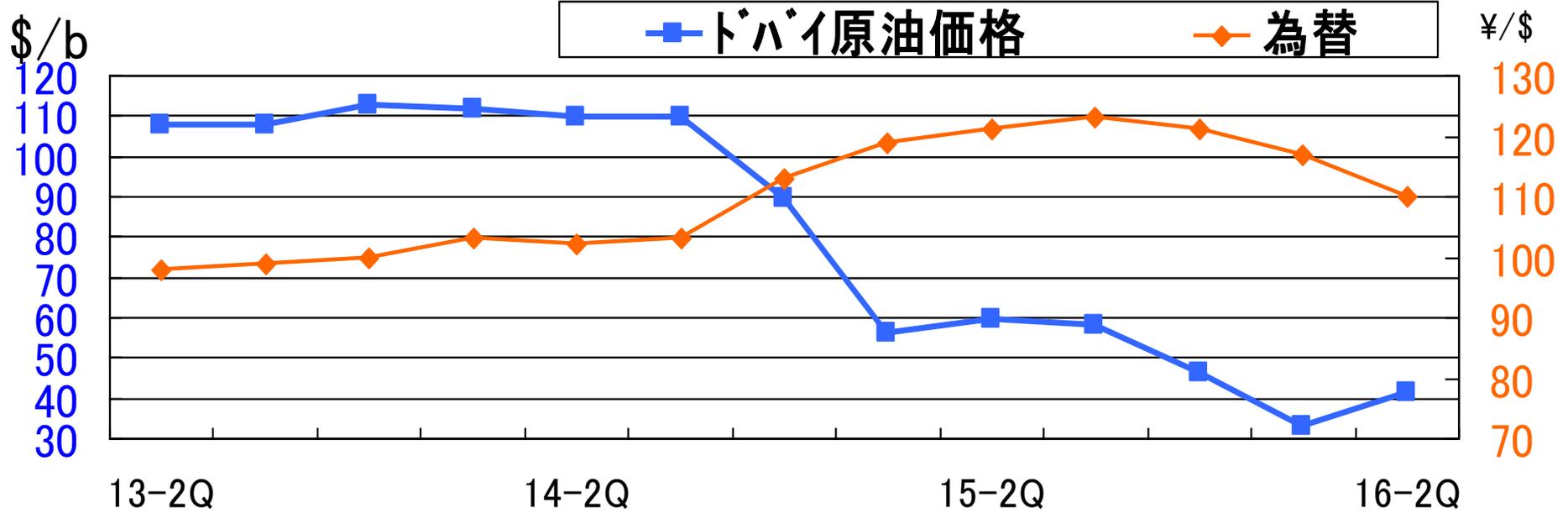
# 当期の経営環境(3)

## 海外自動車生産台数の推移

■ 2014.9-2015.8  
■ 2015.9-2016.8



# 経営環境(4)



## 決算概要

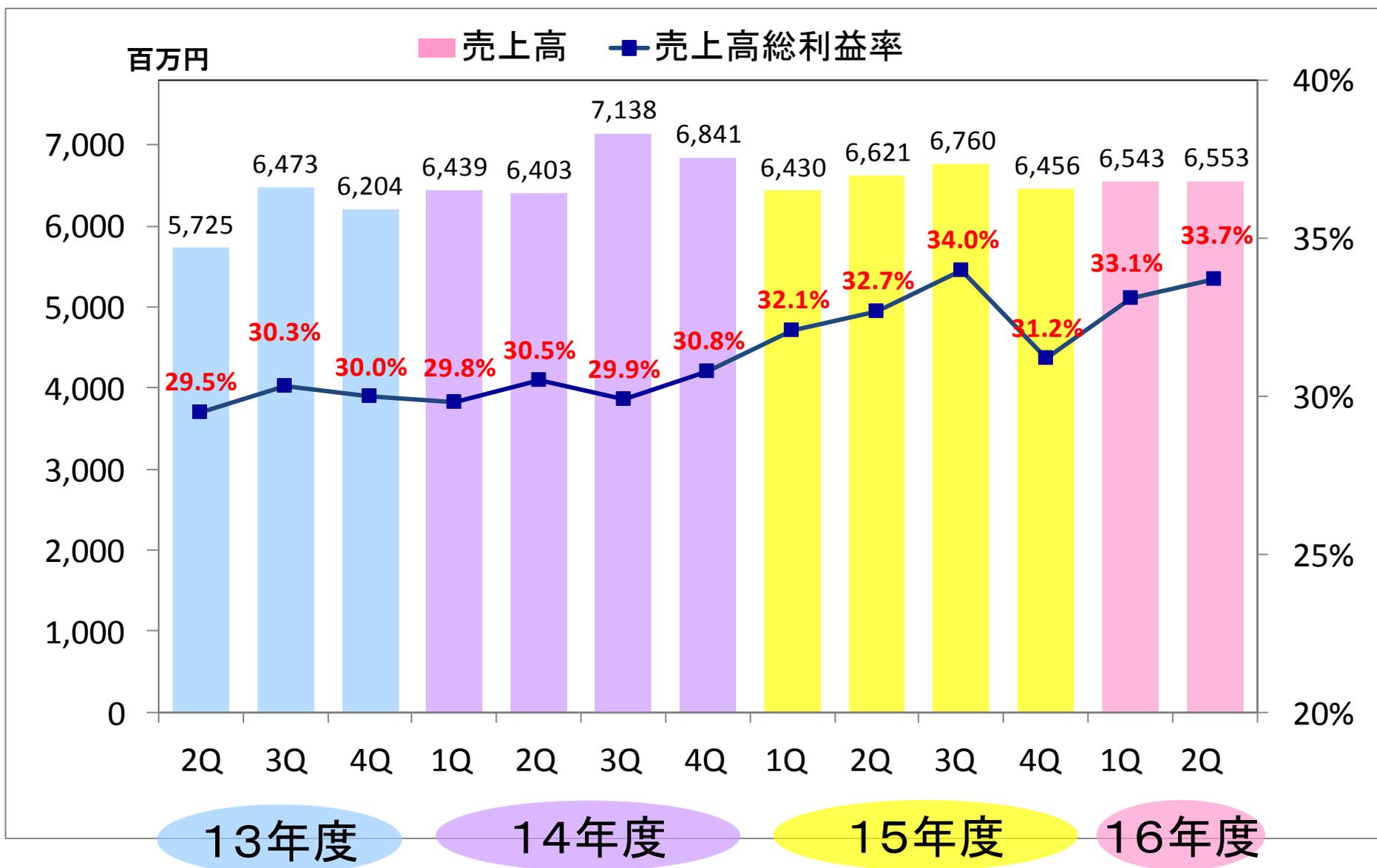
## 連結損益計算書

単位：百万円

科目	15年2Q 累計	16年2Q 累計	前年 同期比
売上高	13,050	13,097	+47
売上総利益	4,227	4,369	+143
販管費	3,156	3,330	+174
営業利益	1,071	1,039	△31
営業外損益	104	30	△73
経常利益	1,175	1,070	△105
税引前利益	1,175	1,070	△105
四半期純利益(*)	708	634	△75

(\*)親会社株主に帰属する四半期純利益。以下同様。

# 売上高,売上高総利益率の推移



# 部門別売上高の内訳

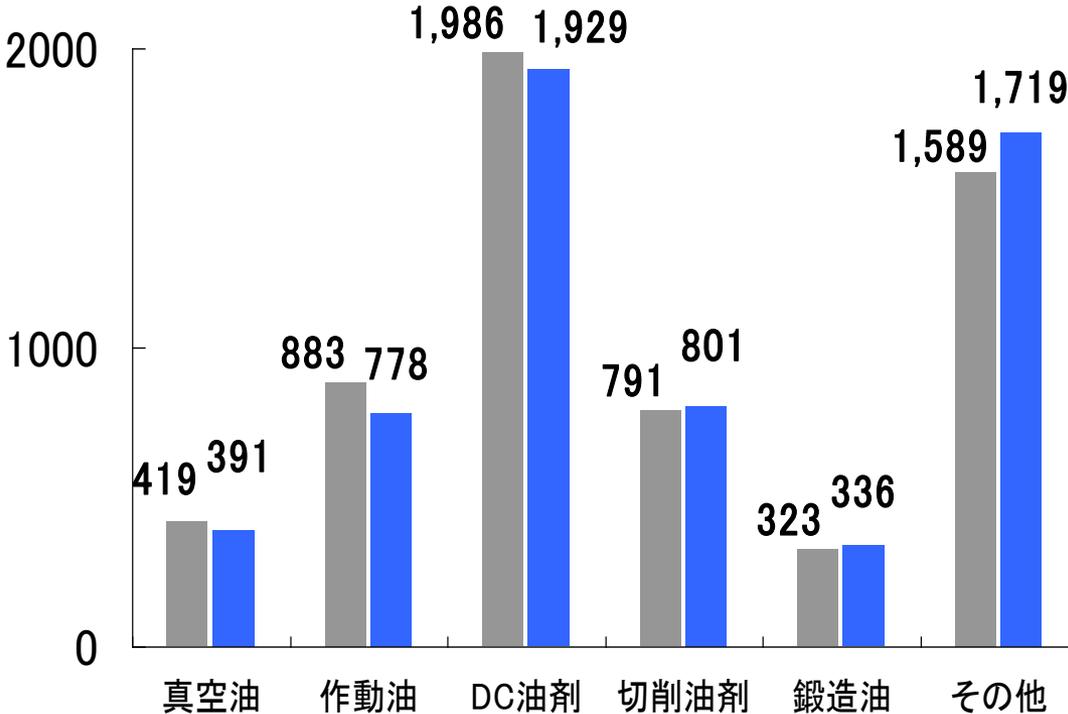
単位:百万円

	15年2Q 累計	16年2Q 累計	前年 同期比
特殊潤滑油部門	5,991	5,953	△37
合成潤滑油部門	1,439	1,309	△130
(うち、HD潤滑剤)	(831)	(725)	△105
素材部門	1,728	1,665	△63
ホットメルト接着剤部門	3,273	3,364	+91
その他	592	779	+187
化学品事業計	13,023	13,070	+47
ビル事業	27	27	△0
売上高合計	13,050	13,097	+47

# 当四半期の実績（特殊潤滑油部門）

◆部門全体の売上は前年比0.6%減（5,953百万円）  
数量は 11.1%増

■ 15年2Q ■ 16年2Q



➤ 熱間鍛造潤滑剤、冷熱媒体、不凍液

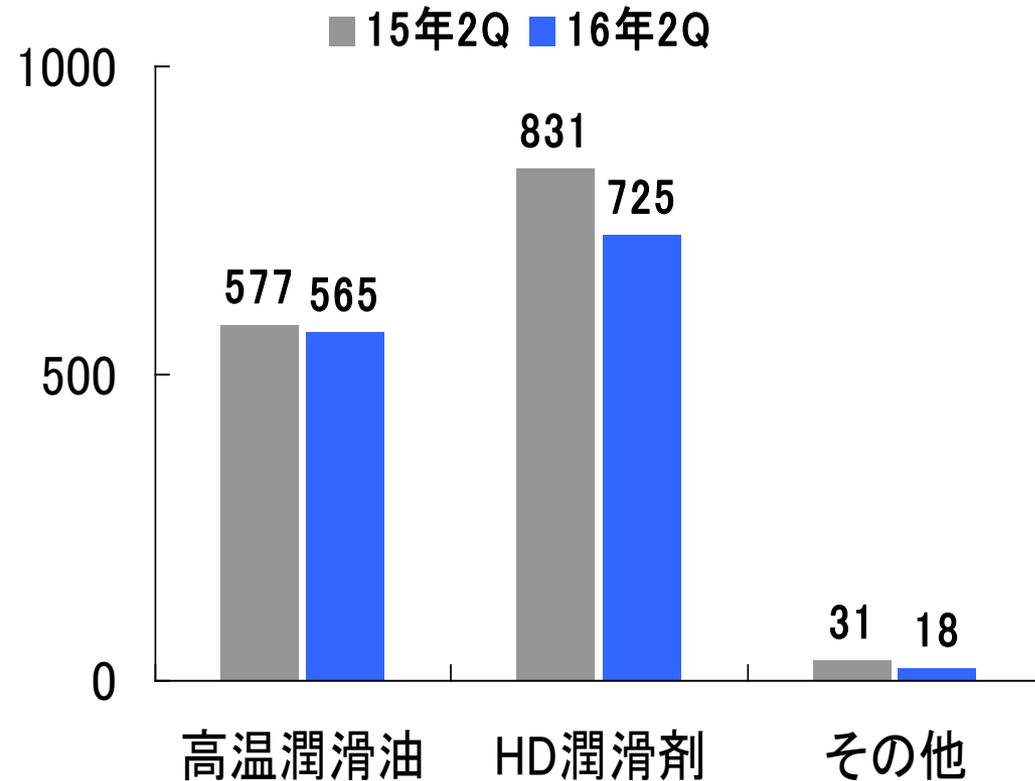
・新規顧客の獲得により、数量、金額ともに増加

➤ ダイカスト用(DC)油剤

・国内外で数量を大きく伸ばすものの、売上高は減少

# 当四半期の実績（合成潤滑油部門）

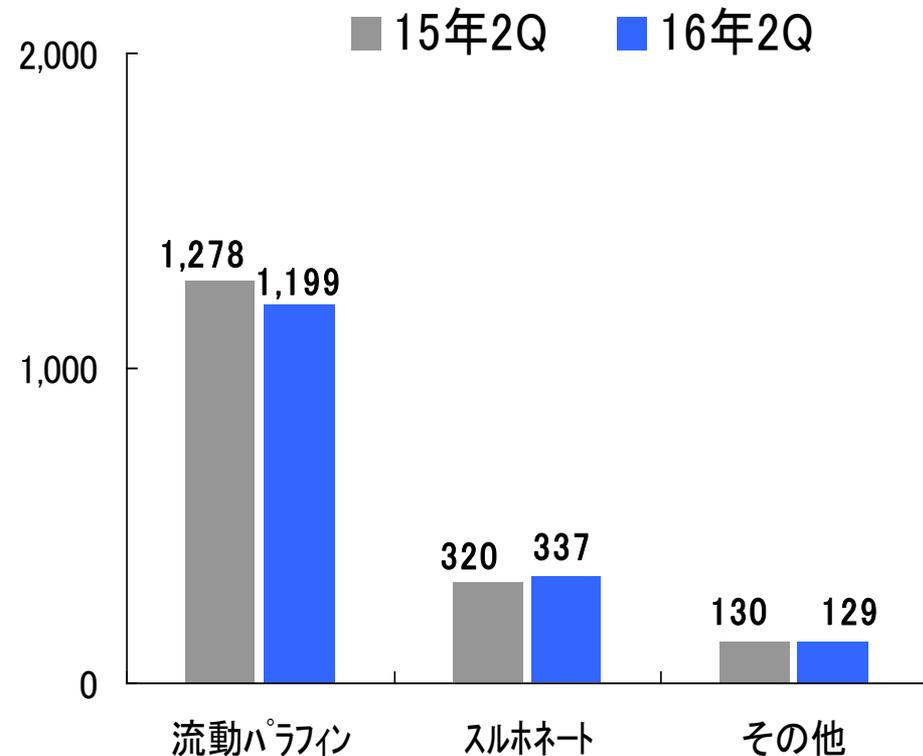
◆部門全体の売上は前年比 9.1%減(1,309百万円)  
数量は 1.0%減



- 高温用潤滑油  
自動車向けグリース用途等
  - ・ 国内向け出荷が低迷
- ハードディスク表面潤滑剤
  - ・ ハードディスクドライブの生産数量減および円高により、数量、金額ともに減少

# 当四半期の実績（素材部門）

◆部門全体の売上は前年比3.7%減（1,665百万円）  
数量は 8.2%増



## ➤流動パラフィン

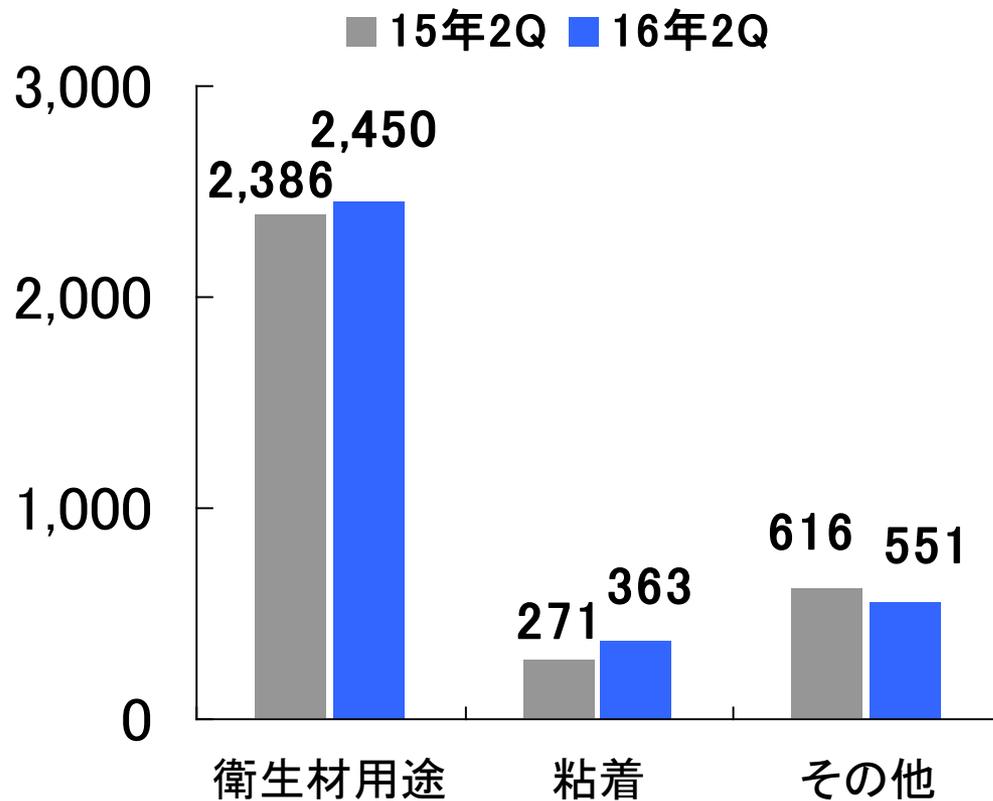
- 数量は増加するも、原材料価格下落に伴う販売単価の下落により売上高は減少

## ➤スルホネート

- 金属加工油の添加剤向けは、数量増加するも売上高は横ばい

# 当四半期の実績（ホットルト接着剤部門）

◆部門全体の売上は前年比2.8%増（3,364百万円）  
数量は 8.6%増



## ➤紙おむつ向け

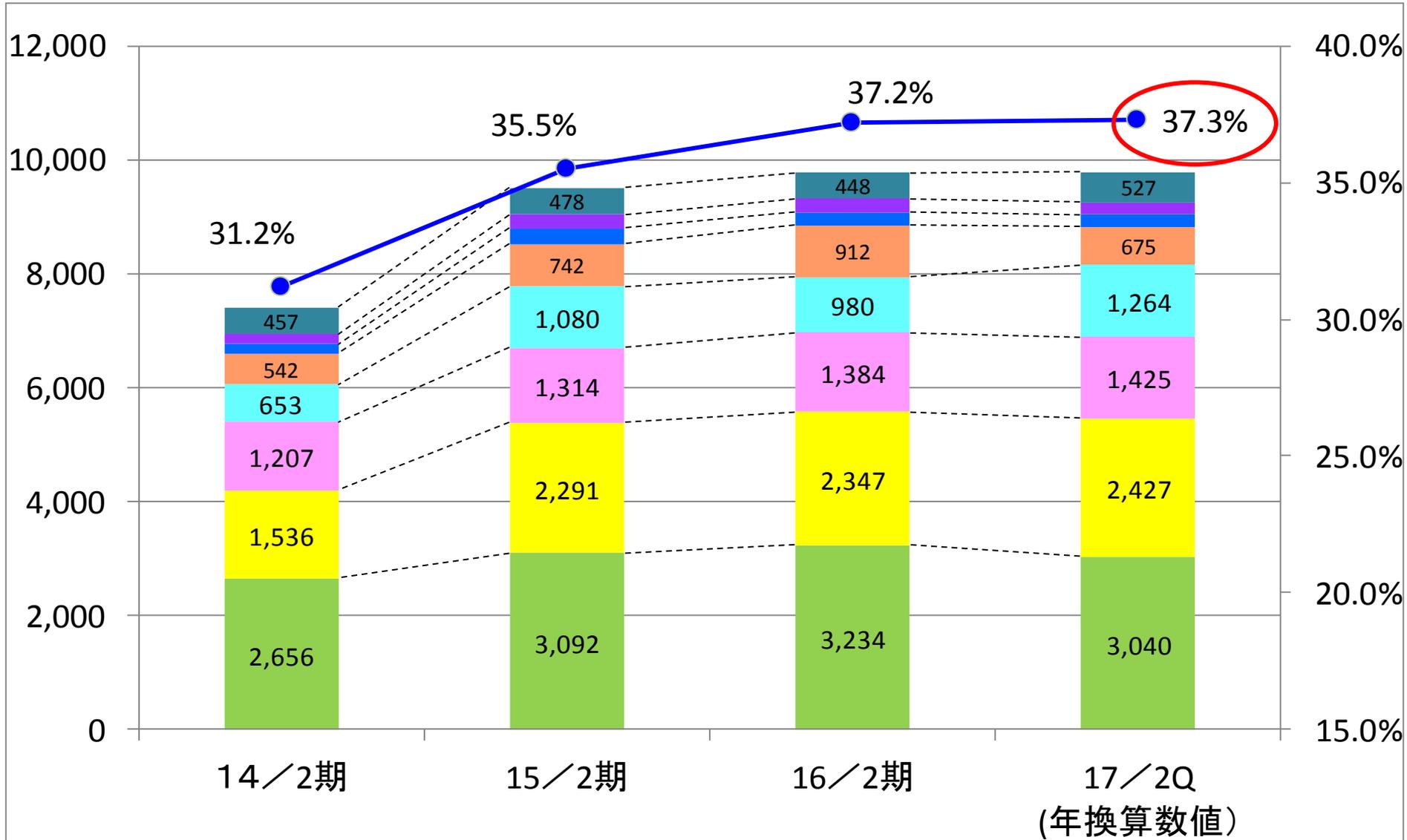
- ・国内、インドネシアで堅調に推移し、数量、金額ともに増加

## ➤粘着分野

- ・新規顧客獲得により数量、金額ともに増加

# 海外売上高(連結)

単位:百万円



■ その他 ■ マレーシア ■ 台湾 ■ シンガポール ■ 北米 ■ タイ ■ インドネシア ■ 中国 ● 海外売上高比率

## 決算概要

## 連結損益計算書

単位：百万円

科目	15年2Q 累計	16年2Q 累計	前年 同期比
売上高	13,050	13,097	+47
売上総利益	4,227	4,369	+143
販管費	3,156	3,330	+174
営業利益	1,071	1,039	△31
営業外損益	104	30	△73
経常利益	1,175	1,070	△105
税引前利益	1,175	1,070	△105
四半期純利益	708	634	△75

## 決算概要

## 連結損益計算書

単位：百万円

科目	15年2Q 累計	16年2Q 累計	前年 同期比
売上高	13,050	13,097	+47
売上総利益	4,227	4,369	+143
販管費	3,156	3,330	+174
営業利益	1,071	1,039	△31
営業外損益	104	30	△73
経常利益	1,175	1,070	△105
税引前利益	1,175	1,070	△105
四半期純利益	708	634	△75

# 販売費・一般管理費

単位：百万円

	15/2Q	16/2Q	増減	前期比
販売費・一般管理費	3,156	3,330	+174	+5.5%
うち、研究開発費	503	547	+44	+8.7%
売上高販管費比率	24.2%	25.4%		
売上高研究開発費比率	3.9%	4.2%		

## <経費の増加要因>

- ・人件費、旅費交通費の増加
- ・減価償却費の増加

## 決算概要

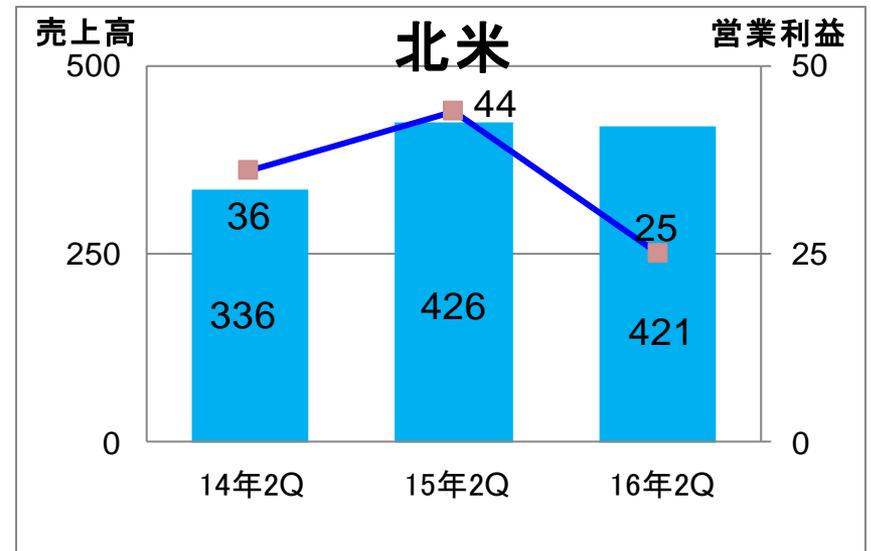
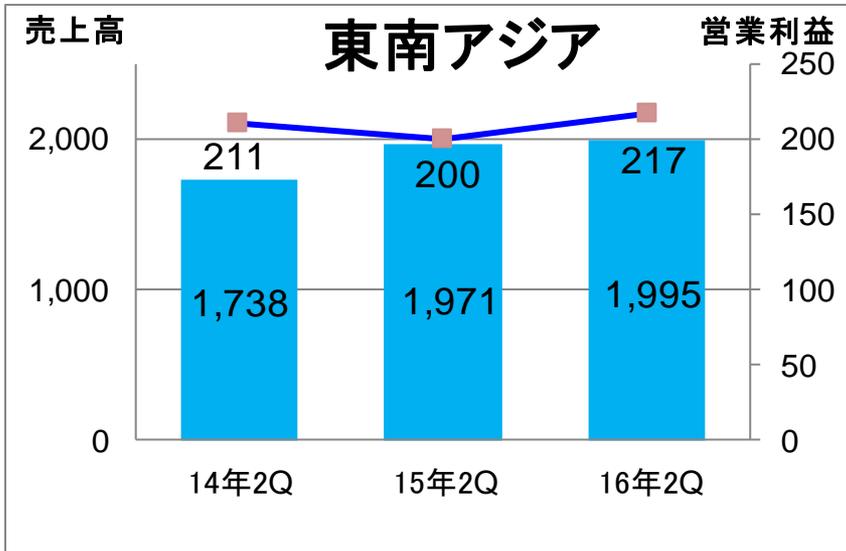
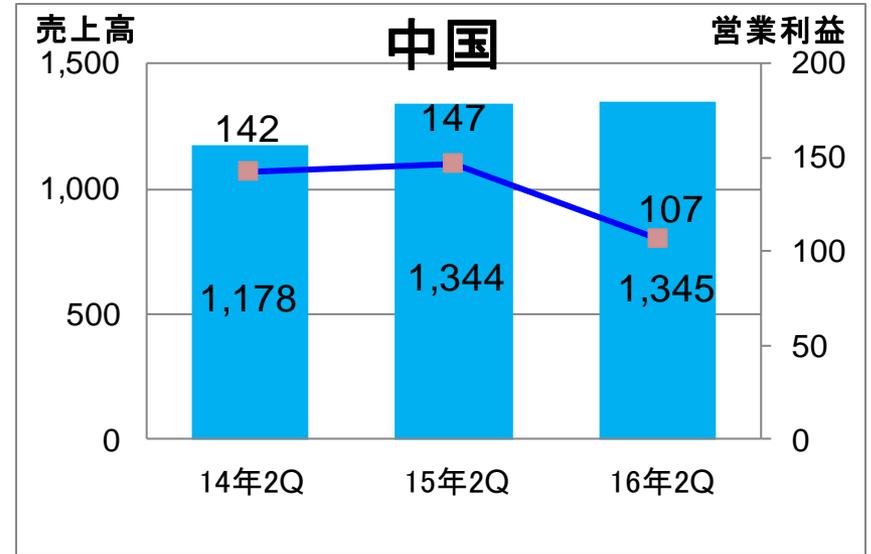
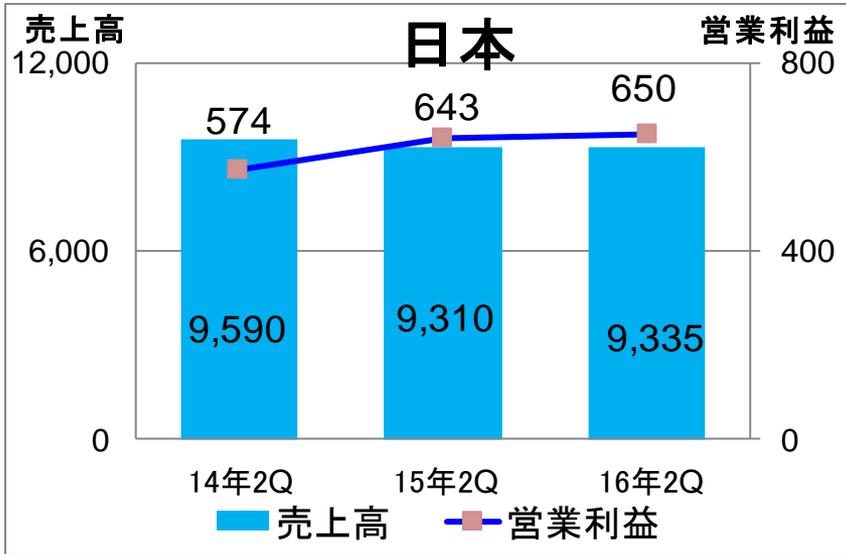
## 連結損益計算書

単位：百万円

科目	15年2Q 累計	16年2Q 累計	前年 同期比
売上高	13,050	13,097	+47
売上総利益	4,227	4,369	+143
販管費	3,156	3,330	+174
営業利益	1,071	1,039	△31
営業外損益	104	30	△73
経常利益	1,175	1,070	△105
税引前利益	1,175	1,070	△105
四半期純利益	708	634	△75

# 地域別損益（連結）

単位：百万円



# 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

科目	当期末	増減	科目	当期末	増減
現預金	2,443	31	仕入債務	4,125	-449
売上債権	6,133	-188	有利子負債	3,478	-281
棚卸資産	3,640	-350	その他流動負債	1,492	-213
その他	342	-80	その他固定負債	527	-30
流動資産計	12,557	-587	負債合計	9,622	-972
有形固定資産	7,747	-336	資本金・資本剰余金	4,041	0
無形固定資産	1,570	-107	利益剰余金	8,763	440
投資その他	1,728	-212	その他の包括利益累計額	-260	-642
固定資産計	11,045	-656	非支配株主持分	1,438	-67
			純資産合計	13,982	-269
資産合計	23,602	-1,243	負債・資本合計	23,604	-1,241

注)増減は、2016年2月末との比較

## 設備投資・減価償却費

単位:百万円

		15/2Q	16/2Q	増減
設備投資額	合計	1,053	347	△706
	MORESCO	594	275	△320
	連結子会社	459	73	△386

		15/2Q	16/2Q	増減
	減価償却費	369	499	+130

主な設備投資(取得ベース)

- 本社 改修・更新(ガスヒートポンプ更新、評価試作棟改修)
- 千葉工場 設備更新(濃縮装置ほか)

単位:百万円

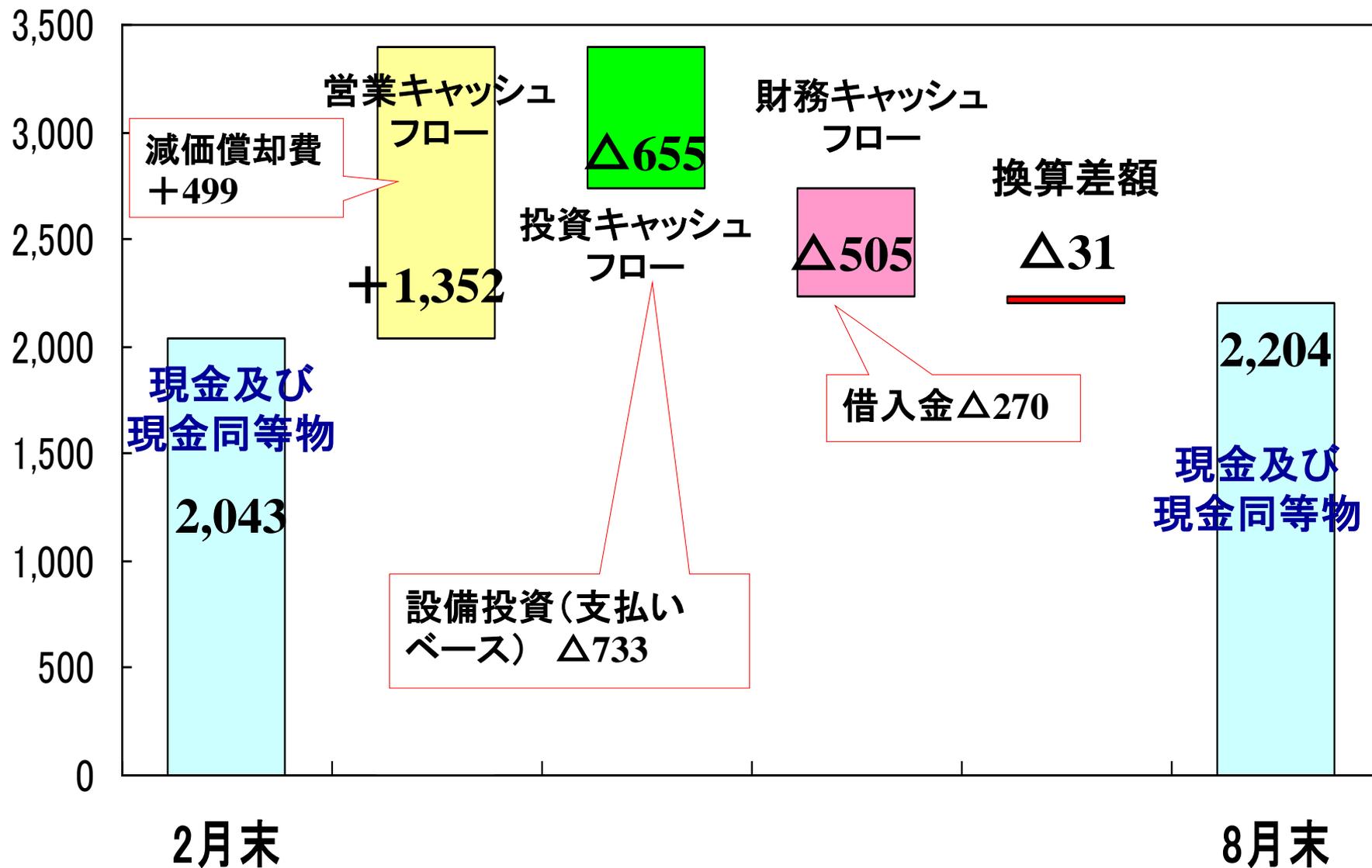
	15年期末	16年2Q	増減
短期借入金※	2,211	1,856	△355
長期借入金	1,548	1,622	+74
合計	3,759	3,478	△281

有利子負債比率	15.1%	14.7%
---------	-------	-------

※ 1年以内返済予定の長期借入金を含む

# 連結キャッシュフロー

Million  
yen



	14/2Q	15/2Q	16/2Q
<b>1株当たり</b>			
四半期純利益	67.31円	73.28円	65.56円
自己資本比率	48.8%	52.0%	53.1%
売上高経常利益率	8.7%	9.0%	8.2%
(参考)株式数(期末)	9,668千株	9,668千株	9,668千株
株主数	3,254名	5,838名	13,309名

# 2016年度 連結業績予想

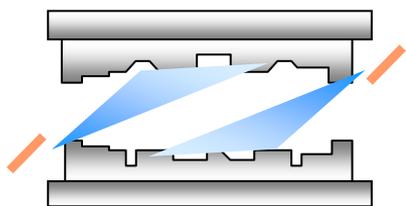
単位：百万円

	15年 2Q累計	16年 2Q累計	進捗率	16年度 通期予想
売上高	13,050	13,097	48%	27,300
営業利益	1,071	1,039	49%	2,100
経常利益	1,175	1,070	43%	2,500
当期純利益	708	634	40%	1,600

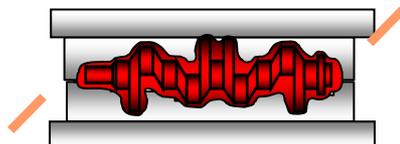
# 新製品開発

# 鍛造用潤滑剤の開発

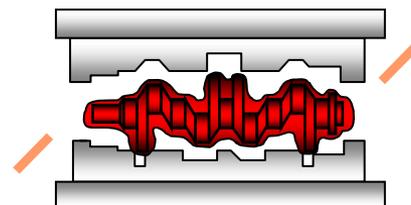
鍛造：強度が必要な部品に用いられる加工法



①冷却＋金型保護膜形成  
(金型寿命向上)



②複雑な形状の成形  
(高い潤滑性)



③金型と素材の焼付き防止  
(高い離型性)



クランクシャフト



コンロッド



CVTプーリー



CVJ



LUBCASTERは、自動車の足廻り部品の加工(生産性向上、歩留まり改善)で活躍

# エネルギーデバイス関連製品①

## 有機デバイス用封止材

有機デバイス：有機物の発光体(有機EL素子)を使った照明や表示器などの機器

有機デバイス用封止材：水分に弱い有機EL素子を水分から守るシール材



照明：発熱が少なく  
直視しても目に優しい光  
ディスプレイ：鮮明な映像

“曲がる” ディス  
プレイなどの次世  
代型表示機器

『モレスコモイスチャーカット』

国内トップメーカーでの採用実績をもとに  
世界市場へ展開

# エネルギーデバイス関連製品②

## ガス・水分透過率測定装置(試料のガスや水分へのバリア性を測定)



### <特徴や機能>

- ・世界最高の超高感度測定(検出下限 $10^{-7}$  g/m<sup>2</sup>/day)
- ・幅広い測定範囲( $10^{+1}$ ~ $10^{-6}$ g/m<sup>2</sup>/day)
- ・短時間測定
- ・公的機関の認証マーク付きで、測定値を保証
- ・水分のみならず、あらゆるガスの測定も可能

日刊工業新聞社、モノづくり日本会議主催

2016年度“超”モノづくり部品大賞 奨励賞受賞



公的機関(産業技術総合研究所)

の認証マーク

# トピックス (1)

## (株)イデアルスターと有機薄膜太陽電池 (OPV) 事業化に向けての技術提携

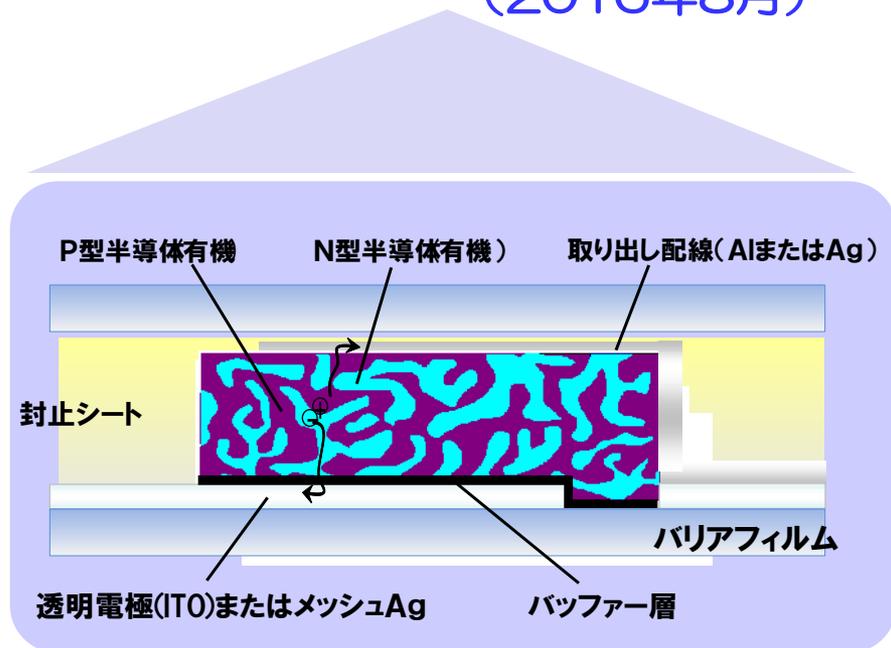
(2016年8月)

「有機薄膜太陽電池」

有機材料(P型/N型)がマイクロに分散した  
発電層を持つ薄型の太陽電池

### 特長

- ・発電層(有機) : バリエティな特性  
(カラフル、シースルー、低照度など)
- ・厚さ・重量 : 極薄、軽量
- ・プロセス(印刷) : 高速、大面積、安価
- ・設置 : 曲面、フレキシブル  
屋内



OPVの発電部断面イメージ  
バルクヘテロ構造

- ・有機発電層が薄いため(100~200  $\mu\text{m}$ )  
薄い素子作製が可能
- ・フレキシブル基板を用いることで、  
フレキシブルな太陽電池を形成

# トピックス（2）

## 千葉工場生産プロセス革新プロジェクト

2017年末までに新たなプロセスの確立と確実な成果を実現

工程の簡素化、リードタイムの短縮、原料・副資材のロス低減、  
エネルギー消費の効率化に取り組む





本社・研究センター

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。  
なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。